



キラリ吉川・キラリ埼玉

(討議資料)

僕は
じいちゃん、ばあちゃんが好きだ
じいちゃんの膝の上に座って、
大相撲中継を一緒に見ていた

ばあちゃんが広告の裏紙を
集めて作ったメモ帳に
字や絵を描いて遊んでいた

そうやって育った

だから
じいちゃん、ばあちゃんが寂しく感じるような街は嫌だ
じいちゃん、ばあちゃんは時代の宝だよ
その経験と知恵を街に生かそうよ

僕はカミさんを尊敬している
出産日前日まで働きながら、3人を出産した
そしてすぐに職場復帰し、子育てしながら、バリバリ働いている
カミさんは神様だよ 僕らはみんな女性から生まれてくるんだから

だから
女性たちがイキイキと暮らせないような街は嫌だ
女性は社会の宝だよ
女性の声に耳を澄まして、もっと大事にしようよ

僕は子どもたちが大好きだ
子どもたちが笑ってる声が、もっと街にあふれればいい
いっぱい遊んで、一生懸命勉強して、
吉川を故郷に大きく育てて欲しい
愛情と夢をたくさん抱えて、羽ばたいて行って欲しい

だから
子どもたちが苦しむような街は嫌だ
子どもたちは未来への宝だよ
みんなで大事に守り育てようよ

そして僕らの世代は頑張らなきゃいけない
一家の大黒柱として、社会の大黒柱として、
責任を持って、じいちゃん、ばあちゃん、女性、子どもたちを
守り、責任を持って、街を創ってゆかなければならない

それが「政治」だと、僕は思う

この20年、吉川の県政はどうだったか！？

◆**利権政治** 一人の人間による、県政5期20年の独占支配は、利権政治という腐敗を生み、市民の政治参加への希望を奪ってしまいました。その結果が前回の投票率36%という低い数字に表れています。(T.T)

◆**子どもと女性と高齢者** 子ども、女性、高齢者への支援において、埼玉県全体の方針から吉川は大きく遅れています。小児科をはじめとする医療の充実を実感できる人は少ないですし、保育園待機児童が100人を越える現状は、女性の社会参加への環境作りの遅れを表しています。また高齢者が不安なく、充実した毎日を送れるような社会環境の整備も進んでおらず、これらの重要課題の放置状態が続いています。(@_@)



◆**橋と命** 中川と江戸川に挟まれている吉川にとって、橋は生命線です。吉川橋の老朽化をはじめとし、県道や歩道なども含めた県政の責任部分でのインフラ整備の遅れは、経済性のみならず、市民の「生命」を守るという観点でも、また「防災」という観点においても非常に危険な状況です。(。_<)



◆**吉川高校消滅！？** 市民も市長も知らないうちに、市内唯一の県立高校である吉川高校が、県による高校統廃合の対象となっていました！教育環境の充実は必須です！(+)_)



◆**その他にもいろいろ** 県からの出向担当者を迎えておきながら、東埼玉テクノポリスの拡張事業を中断し、企業・工場誘致を断念…。新駅（美南駅）周辺開発未定…。県所有の旧吉川保健所の有効利用の断念…など、吉川における県政の機能不全はまだまです！(-_-)

中原恵人はこうする！！

◆**閉塞感→世代交代** 5期20年も続く閉塞感を世代交代で打ち破り、責任と夢、そしてビジョンを持って、キラリと光る吉川を創りあげます！

◆**特権→先頭** 政治家とは先頭に立ち、困難な現状を打ち破っていく役割を担う者です。市民の暮らしを守り、市民のために働くということこそ喜びとプライドを持つべきです。政治家に特権も富もありません。月に50万円も払われる政務調査費の削減および、使途公開、また1900万近い報酬の削減、さらには議員数の削減を訴えていきます！

◆**利権→市民** 一部の人間だけが利益を得るような政治を終わりにし、市民一人ひとりの声を県政に届けます！そして中原の「教育分野」での実績を生かし、また医師会・歯科医師会・薬剤師会との連携のもと「教育・医療・福祉」政策を全力で推進します！

◆**没個性→地元** 必要な公共投資もあります！地元の企業・人材の力で、また行政と地元NPOの連携などにより、吉川ならではの街作りを目指します！これは将来やってくる「地域主権時代」への布石となります！

◆**無計画→吉川ビジョン** 中川と江戸川の中洲に位置し、三郷、越谷という商業圏に挟まれている吉川市。いま急速に30代、40代の人口が増加し、子どもたちも増えています。しかし、住宅を次々に増やすだけの従来のベッドタウン化では、20年後には閑散とした寂しい街になることは間違いありません。そこで「吉川で生まれた人、吉川で学んだ人、吉川で起業した人、定年後に吉川に移り住んだ人、そうした人達が故郷と思える街、吉川」という**吉川ビジョン**を掲げます。

◆**吉川ビジョン①** 「人への政策」としては、

●子どもたちの医療・教育環境 ●女性の働く環境 ●父親が子育てや地元の活動に参加できる環境 ●高齢者も働くことが出来、そして安心して暮らせる環境。そうした環境を整える政策を進めてゆきます。

◆**吉川ビジョン②** 「街創りの政策」としては、

●新駅開発に伴って、シンボリックな大きな公園を作り、その周辺に保育園をはじめとする教育機関や医療機関、そして福祉施設を充実させる「安心して暮らせる街」
●住宅街の中央に共有農地を用意するなどの「農業と生活がリンクした街」
●待機児童、駅前保育送迎、病児保育、小児科救急外来問題などがクリアされた「子育てに優しい街」
●中川や桜通りを観光資源として整備し、「美しい景観と親水の街」
●中州であることを認識し、「医療」「食」「インフラ」「防災」面で十分に危機管理がなされている「守られた街」
というコンセプトを立て、市民の声やアイデアを生かした政策を立ててゆきます。



●こんにちは。2回目の今回は医師として関心のある、そして未来ある子供たちの母親として不満のある**ワクチン接種**についてお話ししたいと思います。●皆さんは、私たちの住む**日本という経済大国が、実は「ワクチン後進国」と呼ばれている**ことをご存知でしょうか？現在公費助成が進められている新規ワクチン「アクトヒブ」は、日本で20数年ぶりに新規発売されたもので、Hib感染症を予防するために世界120か国以上で既に使用されている小児用ワクチンです。日本では1987年の水痘ワクチン以来、世界標準といえる新規ワクチンが承認されることはありませんでした。これだけでも経済大国としては驚くべきことですが、**公費負担ができるワクチンが諸外国に比べると種類が少ない**ということが「ワクチン後進国」と呼ばれてしまう原因なのです。●そのため、本当は子供たちにとって必要な、「みずぼうそう」「おたふくかぜ」「インフルエンザ」などのワクチンでも、任意接種（自費負担）となっており、**接種率は低いまま**です。定期接種にすると、国は副作用における賠償金の支払いや接種費用の負担など様々な責任をたなければいけません。それを避けるために任意接種のままに放置し、積極的な情報提供さえしないのです。お母さん達へのアンケートでも、新しいワクチンを接種しない理由は「よく知らないから」が一番多いのです。●未来を守るためには、**ワクチンの必要性を説き、子供を持つ親世代に情報提供し、一部地方自治体が行っているような公費助成を行うということが大切だ**と思います。●埼玉県から、そして吉川市からモデルとして始まるものがいくつできるのか、それは政治に携わる人々の意識にかかっています。**女性や子ども達のことを考えてくれない政治がこの吉川では20年も続いてきました**。いまこそ、それを変える時です。皆様、夫、中原恵人に期待して下さい。そして応援して下さい。

NPOが地域を変える！！政治を変える！！

◆1月15日(土) 国が打ち出している「新しい公共」を市民の立場で受けとめ、「市民が市民を支える」という寄付社会をつくっていくための第一歩としてのフォーラム「**チェンジ！NPO**」にNPO法人『Future School * 燦 * 』での「不登校・ひきこもり問題」への取り組みが評価され、パネリストとして中原恵人が招かれました。

◆内閣府参与であり、「年越し派遣村」の村長も務められた、湯浅誠氏や全国初のテーマ型地域市民ファンドである認定NPO法人「神奈川子ども未来ファンド」事務局長の米田佐知子氏と共に、弱者に優しい地域を市民の力で作り上げようと熱く語ってきました。(手前が中原です→)



中原 恵人^{しげと}ってどんな人？

筑波大学政治学科在学中に立ち上げた学習塾で「不登校・ひきこもり」の子どもたちと出会い、以後16年間『Future School * 燦(さん) * 』の理事長として、そうした子どもたちへの支援活動を続けてきた中原恵人。さて、そんな彼のヒストリーとは！？

《事務局が語る中原恵人 ～第2回～》

(～第1回～はホームページで！)

●96年の総選挙落選後も、市議、県議への立候補の誘いがいくつかあったが、すべて断り、「教育」の道を進み始めた中原恵人。当時結婚したばかりの絵理先生(大久保クリニック副院長)と大きな一軒家を借り、家庭内暴力で荒れている子、いじめにあって対人恐怖になっている子などを預かり、10名程で暮らし始めた。

●下は小学生から上は20代半ばの子たちとの共同生活。子どもたちは中原を「シゲ兄(にい)」と呼び、毎朝子どもたちに弁当を作ってやり、学校に行ける子は学校に送っていった。有機農業にもみんなで取り組み、晩御飯は全員そろってからいただくなど、それはまるでドラマのような日々で、涙あり、笑いあり。毎日があつという間だったと言う。

●こうして中原恵人は「人と人が織りなす一番大きなハーモニー」である「政治」から離れ、「子どもたち一人ひとりの心」を見つめる「心理」へと向かった。そして「放送大学」「東京福祉大学大学院」において「臨床心理学」を学ぶことになってゆくのだ。

●2003年にはNPO法人格を取得し、名称を『Future School * 燦 * (フューチャースクール・さん)』に改め、「不登校・ひきこもり問題」に苦しむ青少年、家族への支援活動をさらに充実させはじめた。ひきこもって部屋から出てこない子どもへ毎日のように家庭訪問をし、社会復帰につなげてゆく中原恵人は「損か得か、有利か不利か、そんなものではない人と人のつながりってというのが確かにあるんだよね…。そうしたものを地域に育てたら、素敵な街になるよね」と語る。(以下次号)



ボクシングも大好き！
(スパーリング相手(白)は、友人の東洋太平洋&日本ウェルター級チャンピオン井上麻くん！)



↑詩集「永遠などない」と思っていたから



↑合同習字にて！

絵を描き、詩を詠う！

中原恵人が代表を務める

『Future School * 燦 * (さん)』では吉川市の青少年への支援も行っています！その中には先日のセンター試験にチャレンジした生徒も！頑張れ！Kくん！

(『* 燦 * 』の畑から望む、庭とスクール →)



に全力を注ぎます!!
教育、医療、福祉

医師会、歯科医師会、薬剤師会の
三師会推薦決定!!

「県政に新しい風を!!」

新人! 無所属!!

吉川市で県議選に立候補予定

しげと

中原 恵人 40歳

www.nakahara-shigeto.com

(プロフィール)

中原 恵人 なかはら しげと

1970年5月22日生まれ

吉川市在住 ふたご座 O型

「不登校・ひきこもり」青少年支援NPO法人

『Future School * 燦(さん) *』理事長

(www.future-school-sun.com/)

家族:妻、長男6歳、長女4歳、次男3歳

趣味:スポーツ(野球・フットサル・ゴルフ・格闘技など)、創作活動(音楽・絵画・文章)、旅(アジア放浪)、バイク(天気の良い日にツーリング)、犬(家族同然)、仮面ライダー響鬼(笑)

HP & ブログ & Twitter
のアドレスはこちら →
(ぜひフォローして下さい)



(経歴)

現 NPO法人『Future School * 燦(さん) *』理事長

1989年 開成高校 卒業

1994年 筑波大学在学中に学習塾「屋根裏塾」設立。代表就任。

1996年 26歳の時「新党さきがけ」より衆議院選挙立候補 茨城6区 落選

1998年 筑波大学第一学群社会学類政治学科卒業

2003年 「不登校・ひきこもり」青少年への支援団体『Future school * 燦(さん) *』をNPO法人化。理事長就任。

2006年 NPO法人「若者サポートステーション いばらき」設立。初代代表理事就任。

2008年 放送大学教養学部発達教育専攻卒業

2011年 東京福祉大学大学院臨床心理学専攻博士課程卒業

及び 臨床心理士資格取得見込み

(Vol. 1の情報はHPまで↑)

Vol.

2

一緒に活動して下さる仲間を募集しています!
TEL/FAX/E-mailでご連絡ください。→

「キラリ吉川・キラリ埼玉の明日を創る会」

発行部数30,000部 / 発行日2011年2月15日

事務所住所: 〒342-0041埼玉県吉川市保462-1

TEL&FAX:048-983-7886 携帯:080-5023-2003

E-mail: office@nakahara-shigeto.com

<寄付金の送り先> 郵便振替口座番号:00110-8-651839 恵人会

<郵便局以外の送り先> ゆうちょ銀行 019店 当座 0651839



けいじんがひ